

北イタリア安全対策情報（2023年10月～12月）

1 治安情勢

当地における2023年の年間の日本人被害総数は、83件（前年比+43件）となり、その内容は車上狙い7件、置き引き26件、スリ49件、ひったくり1件でした。被害は全て窃盗犯罪であることから、特に公共の場においては、各種窃盗手口に対し強い防犯意識を保持する必要があります。

また中東情勢の悪化を受け、ヘイトクライムやテロ関係者（※下記4参照）の逮捕者などが出たほかテロ攻撃の脅威が増加したため、治安当局等による関連施設や大規模駅等の警備強化が行われました。引き続き最新情報の入手に努め、安全確保に留意してください。

2 日本人被害（件数は当館に届け出のあったもののみを計上）

以下は、日本人の犯罪被害の事例をまとめたものです。

（1）車上狙い:2件（参考：7月から9月は2件）

被害例：路上に駐車中、車の窓ガラスが割られ、助手席に置いていた所持品を盗まれた。

（2）置き引き:7件（同：7月から9月は8件）

被害例：ホテルで朝食時、バッグが違うものにすり替えられた。

（3）スリ:9件（同：7月から9月は9件）

被害例：ベネチアの水バスに乗船中にバッグを開けられ、財布を盗まれた。

3 殺人・強盗・誘拐等凶悪犯罪例

日本人以外の被害が発生した事件の一例を以下にまとめます。

（1）11月、ミラノ市ナヴィリオで男性4人が、複数のベビーギャングにナイフ等で脅され金銭等を奪取

された（※ベビーギャングによる同種犯罪は多発）。

11月11日、パドバ大学に通う学生ジュリア・チェチェッティン（22歳）が元恋人フィリッ

ポ・トゥレッタ（21歳）に刺殺され、イタリアにおける女性への性暴力についての抗議や国民的な議論へと発展した。

4 テロ・爆弾事件発生状況、対日感情の変化、本企業の安全に関する諸問題

（1）10月14日、ミラノ中央駅付近でコーランを持ったアフリカ人の男が、「アラーアクバル」と叫びながらエクアドル人ら3名を襲撃し、逮捕された。

（2）10月17日、ミラノでエジプト人2名が伊首相へのSNS上での脅迫やISへのテロ支援を行い逮捕された。

（3）11月3日、ジェノバでバングラデシュ人がSNS上でテロの扇動等を行い、逮捕された。

（4）12月4日、ブレシアでパキスタン人2名がSNS上でテロの扇動等を行い、逮捕された。

5 対日感情の変化及び本企業の安全に関する諸問題

特になし。